


●「弘化四年 御用日記」の読みどころ (1月1日～3月5日・18日)


| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|--|-------|---------|--------------------------------------|---|
| 元日から3日まで、連日4時半起き! | 1月1日 | 4:30 | 諸式(若水、朝拝) | 御座所湯殿・御座の間 |
| | | 7:00 | (年始)御礼 | 本丸御座の間 |
| 読初めには、床の間に、父 田安 齊匡が書いた「聖像」(孔子像、ケース内に画像あり)を掛けています。 | 1月2日 | 4:30 | 掃初 | |
| | | 7:00 | 鷹据初 | |
| | | 8:00 | (年始)御礼 | 本丸御座の間 |
| 書初めは、5枚。1枚は歳神棚へ、1枚は父、1枚は母(おれいの方)、残り2枚は保存用に。 | | 13:30 | 乗初 | 本丸玄関～馬場(馬は黒沢にて、帰りは籠) 本丸鶴の間内使番所の敷居べりに罷り出た役人に「 デタカ 」、当番の大番組頭に 御名有之 |
| | | 13:30 | 読初、書初「一元施大化」(高野半右衛門) | 御座所御座の間(床の掛物は、田安齊匡筆孔子像) 「メデタイ」 |
| 【側向頭取のチェック】 立矢町大月斎庵前から運正寺前までに魚屋が2軒。道幅も狭いのに臭気等が甚だしい。参詣御通行の節は、戸を下させるか、覆いをかけさせるか、町奉行の考えで取りはかるように。 | | | 初湯 | |
| | | 16:30 | 三献の祝 (大奥書初、買物初、縫物初) | 御座所御座の間 |
| | | | 飛脚出立 | |
| | 1月3日 | 6:00 | (年始)御礼(家老子息、大番・新番格子息、与力・小役人、医師から絵師) | 本丸(御座の間、大広間、鉄砲の間、時計の間、長灯の間) |
| | | | 謡初 | |
| | 1月4日 | 9:00 | 年頭惣参詣 | 御宮、孝頭寺、運正寺、瑞源寺、森厳寺、灰塚 |
| 【側向頭取のチェック】 庭の西側、土居にある仏殿を拝礼された際、香の火が消えてしまった不調法が、先年に引き続いて発生。 以後は、別の香炉に火を入れ持参し、道具役1人が仏殿後ろ口に控えおるよ | | | 魚屋臭気に付側用人へ申談(戸を下すか、覆いをかけるか) | |
| | 1月5日 | 10:00 | 庭御拝 | (宗像宮、宗源殿、稻荷社、土居御仏殿等) |
| | 1月6日 | 9:00 | 土居仏殿の御香の火が消えた件、奥之番へ申聞 (年始)御礼(菩提寺) | 本丸 |
| むむ | | | 年越の祝(昼膳)、七種の初爪 | |
| | | 13:30 | 稽古初(儒学、兵学、鉄砲、槍、打太刀) | 御座所御座の間(床は、孔子像)、御座所稽古所 |
| | | | 福茶 三宝前(大奥) | |
| | 1月7日 | 8:00 | 若菜の祝(松栄院御使) | 本丸御座の間 |
| 1月7日の七草の菜をゆでた汁に指を浸してから爪を切ると、病気にならないと考えられていました。 | | 8:00 | (年始)御礼(隠居、諸町人菩提寺) | 本丸御座の間 |
| | | | 飛脚着 (12月24日発) 田安家御製略暦配付 | |
| | 1月8日 | 8:00 | (年始)御礼(寺社) | 本丸 |
| 例年通り、小丹生浦の刀禰家から干シタラの献上。刀禰茂兵衛家(A0045)の資料は、当館で見られます。 | | | 御台所へ干鱈2枚献上 (小丹生浦刀禰茂兵衛、旧例ごとく) | 酒・吸物くださる |
| | 1月9日 | | 素読(御透につき) | |
| | | 10:00 | 目付御用有之、御用認物 | |
| | 1月10日 | 9:00 | 常憲院(徳川綱吉)忌月に付御宮参詣 | |

| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|---|-------|-------------|---|-----------------------------|
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| <p>本丸で、具足(よろい・かぶと)の前に供えた餅を頂戴する儀式のあと、御座所にもどった春嶽は、ここで、よろい・かぶとを着てみたようです。</p> <p>そこに、具足を片づけにやってきた井原源兵衛とその孫の司馬之助が、思いがけず雄姿を拝見。</p> <p>たまたま江戸にもどるため、挨拶に来た本多内蔵助も拝見しました。</p>  | 1月11日 | 7:00 | 具足餅祝 | 本丸御座の間、鉄砲の間、韃靼の間、大広間 |
| | | | 慶永具足着用、しまいにやってきた井原源兵衛・孫司馬之助拝見 側用人、用人、本多内蔵助(帰府の挨拶)も拝見 | 御座所(床は、秀忠御書、具足飾り、井原源兵衛が飾付け) |
| | | 16:30 | 福引 残りくじ、捨りくじ頂戴(御用達町人、仕立師丸子利右衛門は古格により頂戴) | 福引品物飾付け(御座所鉄砲の間) |
| | 1月12日 | | 素読 | |
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| | | | 飛脚着 | |
| | 1月13日 | 9:00 | 天方孫八、雨森儀右衛門、市村勘右衛門、横田作大夫、高村長作、小宮山周蔵、側用人ほか任命 | 御座所鉄砲の間 |
| | | 12:00 | 目付御用有之 | |
| | | | 六日振飛脚出立(年始祝詞) | |
| | 1月14日 | | 素読 | |
| | | | 雨森[]御機嫌伺、御逢有之 | |
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| | | | 年越しの祝(昼膳)、大奥御拝、御福茶 | |
| | 1月15日 | | 朝、小豆粥 | |
| | | 9:00 | 年頭拝領物目録、老女中奉文御覽、家老中はじめ祝儀 | 本丸御座の間 |
| | | | (年始)御礼(中野専照寺、今宿妙観寺、妙海寺、不動院) | 本丸 |
| | | 夕方 | 御用認物 | |
| | 1月16日 | | 床飾り・掛物、今朝より平常 | |
| | | 9:00~16:00 | 諸稽古はじまり、中庸(松波弥次郎)、鉄砲、素読、槍、打太刀 | |
| | | | 坊主頭、道具役、時計役、評定所において任命 | |
| | | | 八百屋伝兵衛、初ワカメ指出すも受納せず | 「覚」の写しあり |
| | 1月17日 | | 素読(高野半右衛門、通鑑綱目 巻42) | |
| | | 9:00 | 玄成院、大長院、普観寺祈祷 | 御座所鉄砲の間 |
| | | 11:00 | 目付御用有之、天方孫八御用有之 | |
| | | 13:30 | 会読(大学 正心 修身伝)、弓 | |
| | | | 御膳番、御休息の御飾り長鮑の片づけを失念、不調法 | |
| | 1月18日 | | 朝御膳(粥、蕎麦切) | |
| | | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | | 装束関連覚書(召服規定追加) | |
| | | 13:00 | 初灸 | |
| | 1月19日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | | 飛脚着(1月12日発) | |
| | | 14:00~16:00 | 中庸、柔術、打太刀 | |
| | 1月20日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 15:00 | 剣術、打太刀 | |
| | | | 小姓相對屋敷替願(思召にあらせられず) | |
| | 1月21日 | | 素読(高野半右衛門) | |

本丸で、具足(よろい・かぶと)の前に供えた餅を頂戴する儀式のあと、御座所にもどった春嶽は、ここで、よろい・かぶとを着てみたようです。

そこに、具足を片づけにやってきた井原源兵衛とその孫の司馬之助が、思いがけず雄姿を拝見。

たまたま江戸にもどるため、挨拶に来た本多内蔵助も拝見しました。




具足餅祝の日の晩の福引も恒例の楽しいイベント。余った籤を頂戴できる者も、前年・前々年は納戸向と台所向の者だったので今年は、御用達し町人へ。でも仕立師の丸子利右衛門は古格により今年も頂戴。

江戸との間の特急便。6日で結ぶ大名飛脚です。菓子や干しカレイなどプレゼントも。

1月16日から、床の間の掛物なども平常通りとなり、文武の稽古も平常に。

【側向頭取のチェック】御用達しの八百屋伝兵衛から献上された初ワカメ。今後、金額の多い少ないにかかわらず、今後新しさを競うようになってはよくないので、志は深く感じ入るが、受けとれない。

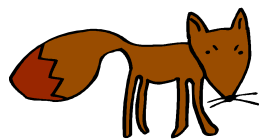
ダメ









【側向頭取のチェック】春嶽の御内意をうかがったところ、問題ないとの思し召し。



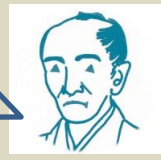
| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|---|-------------|-------------------------|---|-----|
| <p>家老の狛帯刀家にうまれた男子に春嶽が橘(精)一郎と命名。 しかし、こうしたことは稀なことだったようで、狛家ではこの名を嫡子にいただきたいとの願書を出し、「勝手次第」と認められたとのこと。</p>  | | 10:00 | 目付御用有之(浅井八百里) | |
| | | | 御鷹の鴨を浅井を通して用人渋谷権左衛門へ | |
| | | | 近習番、江戸当番割等伺、伺の通り | |
| | | | 御鷹の鴨を森六太夫へ | |
| | | | 11:00 家老御用有之 | |
| | | | 14:00 中庸(松波弥次郎) | |
| | | | 15:00 槍、打太刀 | |
| | | | 御鷹の鴨を鈴木主税へ | |
| | 1月22日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | | 10:00 講談(前田彦次郎・明石甚左衛門) | |
| | | 13:30~15:00 中庸(松波弥次郎)、弓 | | |
| <p>春嶽自筆・自詠の和歌を家老へ。</p> <p>【寿松祝】 狛帯刀へ ちとせまで 操 かわらん松の色も 式ばのうちに こもるとぞみる</p> <p>【春風先発荘中梅】 打わたす 園生の梅も春風の 吹二まかせて 咲そめにけり</p>  <p>↑この歌は笹治 (といわれたとは、)</p> | 1月23日 | | 狛帯刀男子出生、橘(精)一郎と命名。 願によりこの名、嫡子へ | |
| | | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 10:00~14:30 | 講談(井原源兵衛)、中庸(松波弥次郎)、居合、打太刀 | |
| | 1月24日 | 9:00~10:06 | 台徳院(秀忠)命日に付、運正寺参詣 | |
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| | | 13:00 | 目付御用有之(浅井八百里) | |
| | | 夕方 | 御書認 飛脚出立 | |
| | 1月25日 | 9:00~15:00 | 鉄砲、中庸(松波弥次郎)、剣術、打太刀 | |
| | 1月26日 | | 素読(高野半右衛門)、御筆自詠和歌色紙を家老3人へ | |
| | | 11:00 | 目付御用有之(横田作太夫) | |
| | 13:30 | 中庸(松波弥次郎) | | |
| | 14:30 | 槍、打太刀 | | |
| <p>100歳を迎えた小稲津村武右衛門が、祝の餅1箱を献上。 このお餅のゆくえに注目!(2月10日)</p>  | 1月27日 | 9:00~10:09 | 産穢に付明日から3日御免(小姓頭桑山十兵衛) | |
| | | | 運正寺参詣、思召にて今後今月今日の参詣は熨斗目袷にて | |
| | | 12:30 | 家老御用有之、野廻り御供・講談拝聴(天方孫八倅擧之助) | |
| | | 14:30 | 弓 | |
| | | 晩 | 御用書付類有之に付会読延引 | |
| | 1月28日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 10:00 | 竹内流秘伝伝授 | |
| | | | 昼、元日拝領の鏡餅雑煮、蕎麦切 | |
| | | | 百歳寿餅1箱献上(小稲津村武右衛門、支配頭より右筆部屋へ指出し、御用人これを披露) | |
| | | 13:30 | 中庸(松波弥次郎) | |
| | 15:00 | 居合、打太刀 | | |
| 1月29日 | | 素読(高野半右衛門) | | |
| | | 先年酒井外記へ下され候筆先修正 | | |
| | 14:30~17:00 | 柔術、会読 | | |

| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|---|------|-------------|--|------------------|
| <p>将軍家斉から拝領した大切な印籠には、儒者の高野半右衛門(真齋)に命じて、漢文で箱書きを認めさせています。</p> <p>毎日の素読の先生も高野。高野は、のちに藩校明道館で教授を勤めます。</p> | 1月晦日 | 9:00~11:06 | 文恭院(家斉)7回忌、慈本院において茶湯、装束について覚 | |
| | | | 家斉下付の印籠を御腰物方へ預ける印籠箱へ拝領の経緯を高野半右衛門へ命じて漢文で認めさせる | |
| | | 13:30~14:30 | 中庸 (松波弥次郎)、 剣術 | |
| | 2月1日 | 9:00~11:00 | 月並御礼 | 本丸 |
| <p>講談は、もちろん寄席の演芸のひとつではなくて、書物などについて解説することです。</p> <p>前田彦次郎は儒者であり、明石甚左衛門は、兵学に長けていたようです。</p> | | 13:30~14:30 | 中庸 (松波弥次郎)、 槍術、打太刀 | |
| | 2月2日 | | 熊谷小兵衛御機嫌伺、御逢有之 | |
| | | | 素読 (高野半右衛門) | |
| | | 9:30 | 代拝帰り、御目見 | |
| <p>この年、春嶽は参勤交代のために3月19日、江戸へ出発することになります。</p> | | | 飛脚着 (1月24日発) | |
| | | 10:00 | 講談 (前田彦次郎・明石甚左衛門) | |
| | | 13:30 | 弓 | |
| | | | 年忌進物(昆布1箱) | |
| <p>月に一度は、健康のためにお灸も。</p> | | | 奥之番(溝口郷右衛門、勝木十蔵)主税より伺の上御供、用人へ申達 | |
| | | 17:00 | 会読 | |
| | 2月3日 | | 素読 (高野半右衛門) | |
| | | 10:00 | 講談 (井原源兵衛、出勤次第引揚)、 神蔭流秘伝伝授 | 「伝授イタシ大慶ニ存、メデタイ」 |
| <p>2月の最初の午の日は、おいなりさんのお祭り。御座所の庭には、東南に稲荷社がありました。(複製シート「御座所御絵図」参照)</p> | | 11:00 | 目付御用有之 | |
| | | 14:00~15:30 | 中庸 (松波弥次郎)、 居合、打太刀 | |
| | 2月4日 | | 素読 (高野半右衛門は不快欠席) | |
| | | 11:00 | 家老御用有之(参勤交代道中御供人事) | |
| <p>2月の最初の午の日は、おいなりさんのお祭り。御座所の庭には、東南に稲荷社がありました。(複製シート「御座所御絵図」参照)</p> | | | 多用に付、中庸延引 | |
| | | 14:30 | 柔術、打太刀 | |
| | 2月5日 | 9:00 | 鉄砲 | |
| | | 13:30~14:30 | 中庸 (松波弥次郎)、 剣術 | |
| <p>2月の最初の午の日は、おいなりさんのお祭り。御座所の庭には、東南に稲荷社がありました。(複製シート「御座所御絵図」参照)</p> | 2月6日 | | 素読 (高野半右衛門) | |
| | | 10:00 | 目付御用有之(土屋十郎右衛門) | |
| | | 12:30~14:30 | 月並養生の 御灸 | |
| | 2月7日 | | 素読 (高野半右衛門) | |
| <p>2月の最初の午の日は、おいなりさんのお祭り。御座所の庭には、東南に稲荷社がありました。(複製シート「御座所御絵図」参照)</p> | | 13:30~15:00 | 弓、乗馬 | |
| | | 17:00 | 会読 | |
| | 2月8日 | | 素読 (高野半右衛門) | |
| | | 9:00 | 運正寺代拝、御逢 | |
| <p>2月の最初の午の日は、おいなりさんのお祭り。御座所の庭には、東南に稲荷社がありました。(複製シート「御座所御絵図」参照)</p> | | 10:00 | 初午に付、御庭稲荷御拝 | |
| | | 13:00~15:00 | 中庸 (松波弥次郎)、 居合、打太刀 | |
| | 2月9日 | | 素読 (高野半右衛門) | |
| | | 9:00 | 用人(皆川多左衛門、水谷壺岐、井原源兵衛)、人払御用有之 | |



| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 | |
|---|-------|-------------|---|---|--------------------------|
| <p>米寿(88歳)を迎えた嶋津波静が米寿の祝いのお餅を献上。こうした長寿はたいへんおめでたいことで、直接、会い、声をかけています。</p> <p>息災でめでたい!</p>  | 2月10日 | | 米歳寿餅1箱献上(大御番 休息嶋津波静)、用人これを披露 御目見 初午菓子1包、煎茶 | 御目見の際の図あり 御意「息オデ目出タイ」 茶菓は御座所長炉の間にて | |
| | | 10:00 | 武田流兵学伝授 | 御座所御座の間「大慶ニ存メデタイ」 できた巻物の扱いに付覚 | |
| | | 13:30~15:00 | 中庸(松波弥次郎)、柔術、打太刀 | | |
| | | | 一橋家から到来の3種詰茶1箱を主税から秋田八郎兵衛、中根鞞負、天方孫八へ | | |
| <p>【側向頭取のチェック】 春嶽が出殿する際、また帰殿する際、どの部署が対応するか決まっておらず、お互いに譲り合ったりしてトラブルになっていたようです。 鈴木主税が整理して、出殿は近習番、帰殿は小姓が担当と双方の頭取(リーダー)に申達。</p> <p>んっ</p>  | | 2月10日 | 素読(高野半右衛門) 10:30 家老御用有之 | | |
| | | | 今後、出殿・帰殿の際の対応覚、両頭取へ申達 | 出殿は近習番、帰殿は小姓 | |
| | | | 内証御趣意金貸付に付利息等覚 | | |
| | | | 御書御認に付、中庸延引 | | |
| | | 15:00 | 剣術、打太刀 | | |
| | | 2月11日 | 9:00~10:00 | 飛脚出立、父へ直書とともに寿餅1箱(嶋津波静・小稲津村武右衛門) 清浄院(綱昌)命日に付運正寺へ参詣 | |
| | | | 13:30~15:30 | 中庸(松波弥次郎)、槍、打太刀、乗馬、二の丸庭廻り | 馬は、間之山・荒波 |
| | | 2月12日 | | 熊谷小兵衛御機嫌伺 素読(高野半右衛門) | |
| | | | 9:00 | 普請奉行ほか、任命 | 御座所鉄砲の間 |
| | | | 10:00 | 講談(前田彦次郎・明石甚左衛門) 飛脚着(2月4日晚発) | |
| <p>この日、江戸へ向かう飛脚に入れられたのは、父 田安齊匡あての直筆の手紙と、寿餅。この餅は、1月28日と2月9日に、家臣の嶋津波静と小稲津村武右衛門からそれぞれ献上された長寿祝いでした。 百姓からの献上物が、田安家まで届けられているのには、驚かされます。</p>  | | 2月13日 | 14:00~17:00 弓、会読 素読(高野半右衛門) 10:00 講談(井原源兵衛) 奥之番等申渡 | | |
| | | | 11:00 | 目付御用有之(石原甚十郎) | |
| | | | | 魴鮒(ホウボウ)3、2つ召上、1つ六太夫へ | ホウボウは白浜浦献上 |
| | | | 14:00~15:30 | 中庸(松波弥次郎)、居合、打太刀 | |
| | | 2月14日 | | 素読(高野半右衛門) 11:00 家老御用有之 | |
| | | | 15:00~暮時 | 本多内蔵助、機嫌伺、家老中もともに乗馬拝見 帰殿途中、内蔵助らとともに庭廻り | 本丸馬場、馬は荒波・間之山 馬見所にて煎茶 |

| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|---|-------|-------------|--|--|
| <p>御供をつれて城下を巡見し、足羽山の遠的場へ。 遠的は、屋外で遠方にある大的をにめがけて弓を引くことです。 弓の師範役である荻野助太郎に対して、名前を呼び、声をかけています。</p>  <p>大儀</p> | 2月15日 | 9:00～10:09 | 内蔵助・家老3人、夜食下さる 拝領の印蔵、天井板拝見、内蔵助へ「博文約礼」の大字、田安御製略曆下さる | 御座所御座の間、御床は掛花 御意にて内蔵助・家老3人とも御同間、献立あり 生菓子・濃茶、干菓子・薄茶 |
| | | | 12:30～17:00 | 城下廻り(遠的場) |
| <p>鶴お渡しの知らせが到</p> <p>鶴が越前にはいると、刻々と宿場への到着の知らせが入っています。</p>  | 2月16日 | | 早飛脚着 (9日発、出水等により逗留・廻り道、奉書・拝領の鶴お渡しにあいなり候旨) | |
| | | 9:00 | 鉄砲 | |
| | | 13:00 | 勝手掛天方孫八御用(人払) | |
| | | 14:30 | 槍、打太刀 | |
| | | 17:00 | 奉書・鶴、板取宿到着の旨注進 浅水宿まで到着 | |
| | | 19:00 | 石場問屋まで到着 | |
| | | 24:00前 | 到着、右筆部屋御坊主受取、二の間中ほどにて縄を切り、油紙を取り、奉書を箱から出し、白台へ載せ等受取儀式、奉書・鶴拝見の詳細覚 | 御座所御座の間違棚前 御意「 御奉書・鶴拝見タタス様 」 御意「 アリガタイ 」 |
| | | | 御礼使者(斎藤数馬)、御目見奉書は、月番用人持ち下る 鶴は、御膳番持ち下り台所預けに | 御座所鉄砲の間 御意「 於江戸表、用人共申談相動候様、道中無事デ 」 |
| <p>真夜中に鶴が到着。荷解きや老中奉書と鶴の受取から拝見のようすが記録されています。 お礼の使者となった斎藤数馬に声をかけています。</p>  <p>江戸表では、用どもと相談して相勤めるよう。道中無事</p> | 2月17日 | | 素読 (高野半右衛門)、 遺訓 拝読 | |
| | | 9:00 | 狛帯刀、御鷹之鶴拝領に付、申渡 | |
| | | 12:30 | 目付御用有之(石原甚十郎) 御書御認に付弥次郎延引 | |
| | | 15:30 | 弓 | |
| | | | 魴鱒(ホウボウ)5、2つ召上、3つ年寄へ | ホウボウは白浜浦献上 |
| | 2月18日 | | 飛脚出立 素読 (高野半右衛門) | |
| | | | 十文字鍵献上(上関村権右衛門、河内守国助作) 勝手掛天方孫八御用(人払) | |
| | | 14:00～15:00 | 中庸 (松波弥次郎)、 居合、打太刀 | |
| | 2月19日 | | 素読 (高野半右衛門) | |

| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|---|-------|-------------|--|---|
| <p>鶴庖丁は、藩主・家老・側用人・用人・目付らが見守るなかで拝領の鶴をさばくパフォーマンスです。料理方は、能装束を借用したと記され、烏帽子・素袍(すおう)姿で、鶴には手をふれず、真魚箸(まなばし)と包丁のみで切り分けました。</p>  | | 9:00~ | 拝領の鶴 、庖丁仰せつけらる 舞鶴之手 若森才太夫 丸割 野方鉄次郎 服紗飾り 吉田伝右衛門 後見 伊藤弥五太夫 本役庖丁後、後見が胴のほか平鉢に盛り、その後丸割役が胴割、後見が鉢に入れる | 弘化2年2月18日、江戸表での事例を参考に御座所鉄砲の間まないたの上へ鶴・庖丁・魚箸料理方は新番格以上残らず見習として出席 |
| | | | 昼膳、鶴を御吸物にて御頂戴、もつとも酒は無之 | |
| | 2月20日 | 13:30~15:30 | 中庸(松波弥次郎)、柔術、打太刀、乗馬、二の丸庭廻り 素読(高野半右衛門) 飛脚着(2月12日晚発) | |
| <p>鶴のおすそわけに興味深いのは、首・両翼は庖丁人へくだされたことです。「干して鶴庖丁の稽古に用いるとのこと」と記されています。そのほか、骨と胴の羽は残らず黒焼きにして妙薬にしたそうです。</p> | | | 拝領の鶴 、松栄院・謹姫(齊承妹、阿部正弘室)・貞照院(在江戸)へ5切ずつ進ぜらる | 小切れ、くず身は家老・側用人・御用人等へ |
| | 2月21日 | 13:30~14:30 | 中庸(松波弥次郎)、剣術、打太刀 素読、御相手側向、高野半右衛門は不快欠席 | |
| | | 11:00 | 目付御用有之、内証余銀利息 | |
| <p>この日、春嶽は鷹狩のついでに永平寺西側の吉野ヶ岳に登りました。総勢は山の麓に残し、御供の者数人に、お召し物や水とともに、「遠眼鏡」(望遠鏡)を持たせて登っています。山頂の社をお参りして、金100疋を御内証金から出しています。</p>  | 2月22日 | 13:30~14:30 | 中庸(松波弥次郎)、剣術、打太刀 熊谷小兵衛御機嫌伺、御逢有之 素読(高野半右衛門) | |
| | | 10:00 | 講談(前田彦次郎・明石甚左衛門) | |
| | 2月23日 | 13:30~14:30 | 弓、乗馬 会読は認物のため延引 | 馬は、間之山・黒沢・荒波 |
| <p>【側向頭取のチェック】春嶽の御座の間の灯明から煙がもくもく。吟味すると油屋が油を取り違えたと判明。</p> <p>キツと</p>  | 2月24日 | 8:10~17:00 | 荒川筋、 御鷹野で初鷹狩 吉野登山、 遠眼鏡 を背負わせて山上御拜、金100疋内証出 鷹1羽(御脇鷹 御鷹方 中村金兵衛) | 吉田猪谷村間平方で御膳 帰殿途中、院内村甚兵衛方で御膳・小休 道順詳細あり |
| | | 10:00 | 勝手掛天方孫八御用有之 | |
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| | | | 昨夜、御間内油の油煙に付(油部屋・油屋納品取違え)、道具役急度叱り | |
| | | | 御書御認に付、中庸延引 | |
| | | 14:30 | 柔術、打太刀 | |
| | | 晩 | 飛脚出立 | |
| | | | 脇鷹の鷹1 鈴木主税へ 酒3升 鷹匠惣中へ(時節柄緊縮) | |

| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|---|-------|-------------|--|------------------------------|
| | 2月25日 | 9:00~17:00 | 鉄砲、剣術、打太刀、乗馬、会読 | 馬は、黒沢・荒波 |
| | 2月26日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 11:00 | 目付御用有之 | |
| <p>この日は菩提寺の御住職方を招いて、もてなしました。 乗馬の妙技をご覧にいれたり、お抱えの絵師がその場でお好みの絵を描く「席画」を催したりしています。</p> <p>粗末なありあわせでつくった食事であるが、</p> <p>粗末なありあわせでつくった食事であるが、</p> <p>粗末なありあわせでつくった食事であるが、</p> | | 13:30~19:00 | <p>菩提寺を招き、馬事・席画</p> <p>御馬方乗馬</p> <p>席画(絵師奈須玄碩) 金200疋(御内証出) 奈須玄碩</p> <p>運正寺 大安寺 孝顕寺 瑞源寺 天竜寺 花蔵寺 東光寺(御断慈本院) 控室は御座所御用部屋 鉄砲間二の間から御座の間二の間へ、煙草盆・薄茶・生菓子 御意「馬事も申付置候間、庭ヲ寛々見物被致様」 二の丸御馬所、煙草盆・煎茶、大奥より重詰・酒 ふたたび御座の間二の間へ 御意「ソマツ之掛合ユルヲ」 夜食献立あり</p> | |
| | | | せんだって尾州様より到来の枝柿、当番両部屋・奥台所へ 下さる | |
| | 2月27日 | 9:06~10:06 | 運正寺参詣 | |
| | | 13:00 | 靱負、御間内で秘蔵箱の仕訳 | |
| | | | 昨日残りの席画、側用人・主税・六太夫へ下さる | |
| | | 13:30 | 中庸(弥次郎)、弓(暖気に付御的はじめ)、会読は延引 | |
| | 2月28日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| | | 12:39~16:30 | 御城下廻り桜馬場へ 飯島四郎右衛門・弟子の大的(弓)稽古を御覧 馬(黒沢)に常袴のまま乗馬 | 四郎右衛門父子名有之、「今日ハ太儀」 道筋詳細あり |
| | | | 留守中、靱負、秘蔵箱の仕訳 | |
| | | | 小鮎9 召し上がり(鶴匠共より) | |
| | 2月29日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 12:30~15:00 | 中庸(弥次郎)、柔術、打太刀、乗馬 | 馬は、間ノ山・黒沢 |
| | 3月1日 | 9:00 | 目付御用有之(浅井八百里) | |
| | | 9:00 | 城築砂取御覧 | 鉄砲の間 |
| | | 13:30 | 中庸(弥次郎)、槍、打太刀 | |
| | 3月2日 | | 熊谷小兵衛、機嫌伺、御逢有之 素読(高野半右衛門) 飛脚着(2月24日発) | |
| | | 10:00 | 講談(前田彦次郎・明石甚左衛門) | |
| | | 13:30 | 弓 | |
| | | | 本多内蔵助、機嫌伺、二の丸庭廻り | |
| | | 17:00 | 会読 | |
| | 3月3日 | 8:00~10:00 | 上巳の御礼 | 本丸御座の間 |

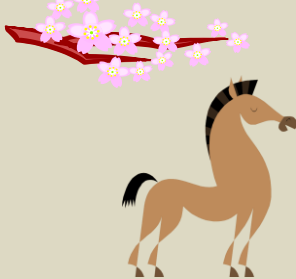


粗末なありあわせでつくった食事であるが、

【側向頭取のチェック】

この時、桜の花はまっ盛り！急だったので、午前10時頃、飯島四郎右衛門には手紙で通知。御目見以下の者がいても構わない旨知らせてありました。

ただし、鈴木主税が前日に差し支えないかどうか、内々に飯島を取調べています。



| おすすめ・読みどころ | 月 日 | おおよその時刻 | できごと | 場所等 |
|------------|-------|---------|---|--|
| | | | 井原源兵衛、流儀の天授巻申上 金100疋 御内証出 | 弘化2年3月5日三字伝申上候通、御意「其節ハタイギ」 「伝授イタシ大慶ニ存、メデタイ」 |
| | | 夕 | 城築砂取御試、弥次郎書物延引 | |
| | 3月4日 | | 素読(高野半右衛門) | |
| | | 10:00 | 目付御用有之(横田作太夫) | |
| | | 11:00 | 家老御用有之 | |
| | | | 思召をもってありあわせの品、御手自下さる 側御用人 秋田八郎兵衛へ 同 見習 中根鞆負へ ほか | |
| | | 13:00 | 中根鞆負、秘蔵の箱、仕訳 | |
| | | | 発駕前、本類仕訳等のため弥次郎延引 | |
| | | 14:30 | 柔術、打太刀 昨年は、栗・銀杏であったが大風で吹き落されできず、今年は菓子1包を御相手の面々へ | |
| | 3月5日 | 9:00 | 鉄砲 | |
| | | | (以下、3月18日前半まで欠落) | |
| | 3月18日 | | 御機嫌伺(腰物奉行)、修復した腰物御覧 | |
| | | | 御庭御拜(宗像宮) | |
| | | 13:00 | 家老御用有之 | |
| | | | 参勤交代関連 道中で他家の行列と出逢った際の御簾役へ対応申渡(相手の位に対応し籠の戸、御簾の扱いを指示) | |
| | | | 側用人秋田八郎兵衛、家老代理として御供、川場・歩行の節心得について、主税まで相談。春嶽のお思召しを伺うと、用事があれば呼ぶので、お呼びがない時は、参上しなくてよい、とのこと。 | |

柔術や剣の稽古仲間の家臣には、時には栗や銀杏をあげたりすることもあったようです。

この年はたまたま大風で吹き落されて栗もギンナンも不作。菓子1包をあげています。

